

東北運輸局の取組について

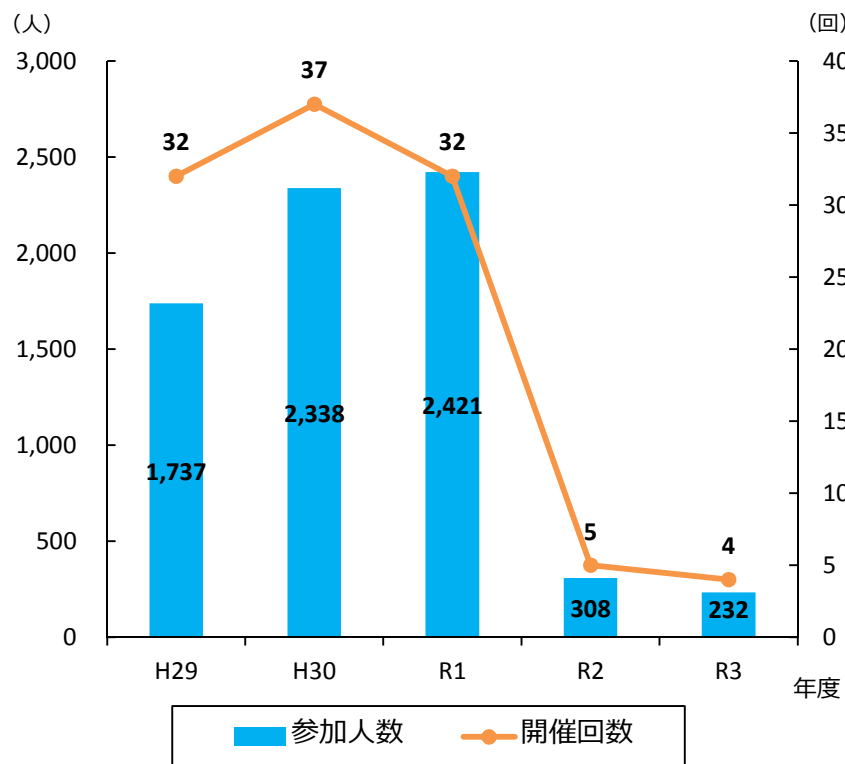
バリアフリー教室

高齢者、障害者等が安心して日常生活や社会生活ができるようにするためには、施設整備（ハード面）だけでなく、高齢者、障害者等の困難を「**自らの問題**」として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」が重要です。

このため、管内各地において「**バリアフリー教室**」を開催し、疑似体験、介助体験、バリアフリー化された施設の体験等をしていただく場を提供しています。

また、地域が行っている、学校、地方公共団体、NPO、ボランティア団体、障害者団体、福祉施設など多様な主体が、お互いに連携しながら同様の取り組みや活動に対して、情報提供等の支援を行っています。

過去5年間の開催実績



過去の主な開催場所と参加者

開催県	開催場所	参加者
青森県	弘南バス（株）弘前営業所	小学4年生
岩手県	奥州文化会館Zホール	バス、タクシー事業者
	楽天生命パーク宮城	小学4年生ほか
宮城県	仙台市内小学校	小学3年生
	仙台市内小学校	小学4年生
秋田県	秋田市内小学校	小学4年生
	秋田市内小学校	小学4年生
山形県	JR天童駅内	小学5年生
福島県	奥飯坂穴原温泉 吉川屋	飯坂温泉旅館共同組合関係者

バリアフリー教室

バリアフリー教室の様子



体験グッズ

高齢者疑似体験（小学生用・大人用どちらか）、視覚障害者疑似体験それぞれ20セットまで使用可能。

高齢者疑似体験セット



視覚障害者疑似体験用 白杖とアイマスク



バリアフリー教室の開催状況

高齢者疑似体験

【開催概要】

実施日：令和3年6月24日（木）
 場所：仙台市立七北田小学校
 参加者：小学校3年生 131名
 主催：東北運輸局
 協力：仙台市社会福祉協議会
 泉中央地域包括支援センター

高齢者疑似体験グッズを着用した状態での歩行、階段の昇り降りを児童に体験していただきました。ゴーグルを付けることで視界が悪くなっているため、慎重に階段に向かっていった姿が印象的でした。

【主な感想】

- ・『高齢者は普段体が重く、動きづらいことが分かった。』
- ・『階段を昇り降りをする時、結構大変だった。』



高齢者疑似体験

【開催概要】

実施日：令和3年6月30日（水）
 場所：仙台市立住吉台小学校
 参加者：小学校4年生 56名
 主催：東北運輸局
 協力：仙台市社会福祉協議会
 根白石地域包括支援センター

高齢者疑似体験グッズを着用した状態での歩行、軍手を着用した状態で物を掴む体験を児童にさせていただきました。軍手を着けることにより掴みづらくなっているため、本来であれば簡単にできる作業に苦戦している様子でした。

【主な感想】

- ・『高齢者がこんなに体が重いことや固いことが分かり、普段から大変な思いをしていることが分かった。』
- ・『足首に重りつけてみて、最初は平気だったが後から重さが効いてきた。』



UDタクシーを使った車いす利用者の乗降・介助体験

【開催概要】

実施日：令和3年10月18日（月）
 場所：山形運輸支局
 参加者：タクシー事業者社員 10名
 主催：山形運輸支局
 協力：山形トヨペット株式会社
 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会
 一般社団法人 山形県ハイヤー協会
 山形県ハイヤー・タクシー協会

山形トヨペット株式会社の職員からはUDタクシーでの操作方法や特徴を、社会福祉法人山形市社会福祉協議会の職員からは車いす利用者に対する声かけや車いすの操作方法を説明していただきました。

【主な感想】

- ・『UDタクシー車両を使った実際の動作確認や体験は参考になった。』
- ・『地域交通の希望の星となるタクシー会社になるよう取り組んでいきたいと感じた。』



地域公共交通調査等事業（地域公共交通バリアフリー化調査事業）

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に基づく移動等円滑化促進方針及び基本構想（※）の策定に要する調査経費を支援。

※バリアフリー法の改正により、基本構想に記載する事業メニューの一つとして、従来のハード整備に加え、心のバリアフリーに関する特定事業（教育啓発特定事業）を創設。公共交通特定事業（ハード整備）と併せて教育啓発特定事業（ソフト対策）を基本構想に位置づけ、ハード・ソフト一体となったバリアフリー化を推進する市町村を支援。

地域公共交通バリアフリー化調査事業（移動等円滑化促進方針策定事業、基本構想策定事業）

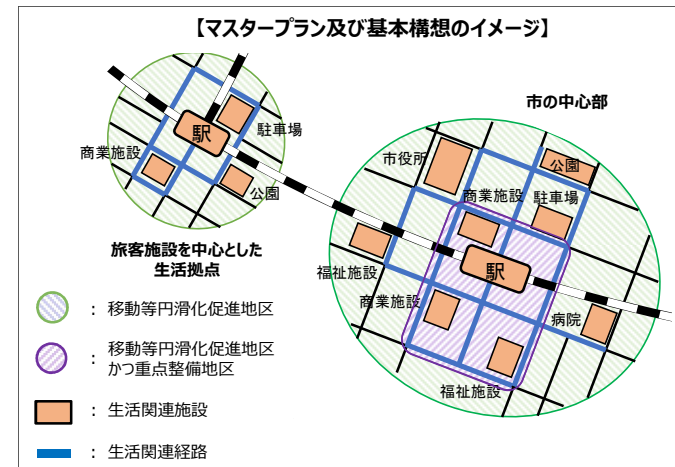
○補助対象者：市町村（ただし、バリアフリー法第24条の4第1項又は第26条第1項に規定する協議会の構成員）

○補助対象経費：地域におけるバリアフリー化の促進を図るための移動等円滑化促進方針又は基本構想（※）の策定に必要な調査経費

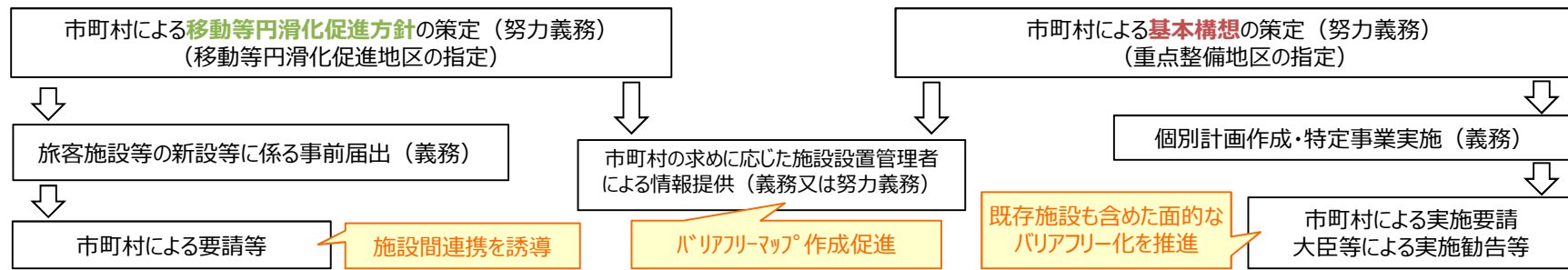
- ・ 協議会開催等の事務費
- ・ 住民・利用者アンケートの実施費用
- ・ 短期間の実証調査のための費用等
- ・ 地域のデータの収集・分析の費用
- ・ 専門家の招聘費用

※基本構想については、公共交通特定事業（ホームドアの設置、ノンステップバスの導入等）に加え、心のバリアフリーに関する教育啓発特定事業（公共交通の利用疑似体験等）を位置づけ、ハード・ソフト一体的なバリアフリー化を目指すものに限る。

○補助率：1/2（上限500万円）



「移動等円滑化促進方針・基本構想制度の概要」



「参考資料」

- ・『移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン』 : http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_tk_000012.html
- ・『交付要綱・実施要領』 : http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000041.html